



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

第3期安芸地域アクションプランの進捗状況等について

安 芸 地 域 本 部

平成29年9月6日（水）

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 9 . 6
安 芸 地 域 本 部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（32項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップに向けた栽培講習、改植事業等の勉強会などを開催するとともに、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っている。

林業分野では、室戸市において土佐備長炭の生産量の増加を図るため、市有林の立木の売却について関係者協議を進めるとともに、新規研修生の受入による後継者の育成に取り組んでいる。

水産業分野では、高鮮度処理による定置網漁業漁獲物の付加価値向上や、産地見学会の開催などによる販路拡大に取り組んでいる。

観光分野では、企画展の実施などにより志国高知幕末維新博の各地域会場への多くの集客につながっている。また、日本遺産に認定された魚梁瀬森林鉄道については、関係機関と連携して、情報発信による誘客の取り組みなどを積極的に行っている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 土佐あき ・ JA 馬路村 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 500 t <H26 : 449t></p> <p>加工仕向量(1～12月) : 5,000 t <H26 : 4,489t></p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12月) : 36億円 <H26 : 32億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 400t</p> <p>加工仕向量(1～12月) : 4,800t</p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12月) : 32億円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 350t → 実績356 t</p> <p>加工仕向量(1～12月) : 4,800t → 実績5,995t</p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12月) : 32億円 → 実績28.9億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額(1～6月): 11億1675万円(前年同期比98%)</p> <p>○新植・改植の推進(青果の生産拡大と品質向上)(JA 土佐あき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習、改植事業等の勉強会(24回) <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工原料の品質ワンランクアップ(JA 土佐あき) (勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催: 23回) ・消費地での青玉ユズの消費宣伝 8/5、8/6(JA 土佐あき) ・加工品の販売強化に向けたポン酢及び化粧品の製造施設の整備(産振総合補助金を活用・JA 馬路村) (6/13 着工、1月完了予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の品質向上と安定供給、販売強化 ⇒新植・改植の推進などの取り組みを着実に継続 ・加工品の販売強化 ⇒消費者ニーズに対応するための加工品製造施設の整備(JA 馬路村)
<p>■No.2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 ・東洋町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品数: 4アイテム(累計) <H26: 2アイテム></p> <p>既存商品の販売数(1～12月): 5,000本 <H26: 3,584本></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>商品数: 4アイテム(累計)</p> <p>既存商品の販売数(1～12月): 4,000本</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>商品数: 3アイテム(累計) → 実績3アイテム(累計)</p> <p>既存商品の販売数(1～12月): 4,000本 → 実績2,567本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発に向けた企業訪問(4/20、5/29) ・食品メーカーとの連携による新商品の開発(ポンカンコンフィチュール、ポンカンドライフルーツ) ・ポンカン生産者確保のため高知求人ネットへの求人登録(6/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上げ向上を目指した商品の磨き上げや新商品の開発 ⇒搾汁方法の見直しやパッケージの改良 ⇒専門家の活用による菓子類等の新商品開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭室戸生産組合 ・土佐備長炭生産組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>出荷量 : 1,580 t <H26 : 1,076 t ></p> <p>新規就労者数 : 26人 (H28~31累計) <H24~27 11人 ></p> <p>製炭窯設置 : 21基 (H28~31累計) <H24~26 増設7基 ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>出荷量 : 1,360 t</p> <p>新規就労者数 : 12人 (H28~29累計)</p> <p>製炭窯設置 : 10基 (H28~29累計)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>出荷量 : 1,260t</p> <p>新規就労者数 : 6人 → 実績5人</p> <p>製炭窯設置 : 5基 → 実績5基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興策の検討 ・製炭原木(ウバメガシ)の植栽試験の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木の安定供給の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒室戸市有林等の売却 ⇒原木伐採のための作業道開設への支援 ⇒ウバメガシ等の実態調査による地域内での効率的な原木生産の検討 ・研修生の自立支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒既存支援制度の周知 ・生産者団体の組織強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒各事業者が連携した国補助事業等の実施を検討
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エコアス馬路村 ・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>木製品出荷額 : 277,000千円 <H26 : 251,910千円 ></p> <p>加工部門雇用者数 : 27人(現状維持) <H26 : 27人 ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>木製品出荷額 : 264,000千円</p> <p>加工部門雇用者数 : 27人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>木製品出荷額 : 258,000千円 → 実績207,837千円</p> <p>加工部門雇用者数 : 27人 → 実績25人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ事業を活用した販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> 見本市(インテリアライフスタイル)へ出展 (6/14~6/16) webサイト、カタログの制作

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・H30以降の新商品販売に向けた商品化準備</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・木製品の販売促進 ⇒消費者ニーズに合った木製品の販売強化 ⇒都市部への木製品出荷体制整備を検討</p>
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>[定置網漁獲物]</p> <p>・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会</p> <p>[水産加工]</p> <p>・(有)タカシン水産</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：20,000千円<H26：0円> 簡易加工品の販売額：3,000千円<H26：0円> 加工品販売額((有)タカシン水産室戸工場) ：1.5億円<H26：0.8億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：2,000千円 簡易加工品の販売額：300千円 加工品販売額((有)タカシン水産室戸工場)：80,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：2,000千円 → 実績306千円 簡易加工品の販売額：300千円 → 実績63千円 加工品販売額((有)タカシン水産室戸工場)：80,000千円 → 実績75,322千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額(6月末)：92千円 (内訳：室戸85千円、中芸7千円) 簡易加工品の販売額(6月末)：0円 加工品販売額(有)タカシン水産室戸工場(6月末) ：26,804千円(前年同期比133%)</p> <p>○高鮮度処理の取り組み(室戸市定置協及び中芸定置協)</p> <p><高鮮度処理魚の増産></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高鮮度処理の意識醸成に向けた学習会の開催(1回) ・定置網漁業者等への技術指導7回(室戸3回、中芸4回) <p><高鮮度処理魚の販路拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地見学会の開催(室戸1回) ・新規参入を希望する産地買受人との事業協議(2回) ・イベントでの高鮮度処理魚のPR(2回) ・(室戸)サンプル出荷：3社(うち成約0社) <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加領郷魚舎が原魚の仕入れを委託している集落活動支援センター「なはりの郷」が奈半利町漁協での買参権を取得 <p>○加工品販売の取り組み((有)タカシン水産室戸工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者委託訓練の受講生を正規に雇用(5/13～)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・高鮮度処理技術と販路の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定置網漁業者への指導による高鮮度処理技術の定着及び実施体制の構築 ⇒産地買受人を介した高鮮度処理魚の試験販売等 ○簡易加工品の製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原魚の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原魚の安定調達に向けた仕組みづくりの検討 ○加工品の取り組み（(有) タカシン水産室戸工場） <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒HACCP 講習会への参加を通じた育成
<p>■No. 10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・協同キラメッセ室戸（有） 	<p>[目標（H31）]</p> <p>売上高：370,000千円<H26：308,334千円> 来場者数：260,000人<H26：230,887人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高：365,000千円 来場者数：260,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高：350,000千円 → 実績364,127千円 来場者数：250,000人 → 実績 263,368人</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（6月末）：89,806千円（前年同期比108%） 来場者数（6月末）：71,554千円（前年同期比102%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による庭先集荷の実施（中川内地区） ・農業複合経営拠点化に向けた協同キラメッセ室戸（有）、市、県の三者協議の開催（1回） ・農村集落活性化協議会の設立（4/21） ・6次産業化セミナー（実践コース）参加（6/23、7/27、8/25） ・複合経営拠点推進フォーラム参加（7/18） ・先進地視察（7/21～7/22 農業体験宿泊施設・農家レストラン「秋津野ガルテン」（和歌山県田辺市） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の生鮮品不足や農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 <ul style="list-style-type: none"> ⇒農業経営や持続可能な集荷体制の構築を目的とした農業複合経営拠点化に向けた、将来ビジョンの策定や研修会等の実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業: 3件(H29~31累計) <H28: 0件></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業: 1件</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>— (H29新規AP)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ事業を展開(第3号店: H28. 12~H29. 6、第4号店: H29. 7~) ・高知大学地域協働学部との連携について検討 ・第10回全国「商い甲子園」開催(8/12) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の目標とする将来像の検討 ⇒産振アドバイザーの活用による関係者協議の実施
<p>■No. 12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・東洋町観光振興協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高 : 168,990千円<H26: 141,938千円> 来場者数: 180,000人<H26: 157,790人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高 : 168,990千円 来場者数: 180,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高 : 162,412千円 → 実績177,031千円 来場者数: 180,000人 → 実績 189,747人</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(6月末): 48,537千円(前年同期比105%) 来場者数(6月末): 50,480人(前年同期比102%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(2校) (修学旅行生への土産物の販売) ・てるてる祭り(東洋町)などへのイベント出店(5/13、6/3)やワークショップ(かご編み)の開催(6/20) ・大阪府内(13箇所)への営業活動(6/16~6/23) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体客など多客時の対応 ⇒店舗の狭隘対策や受入れ体制について関係者間で協議 ・特産品の開発と販路拡大 ⇒地域食材を活用した新たな加工品開発のための施設整備の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)熊谷ファーム ・(株)マルキョウ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 20,000千円 <H26: -></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高: 13,500千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高: 13,500千円 → 実績180千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町単補助金の活用により自社HPを作製((株)熊谷ファーム、8月) ・高知県産業振興センターと商品開発について協議(1回) ・こうち農商工連携基金を活用したペットフードの試作開発、アンケートの実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットフードの新商品開発と販路拡大 ⇒商談会等への出展による販路拡大 ⇒加工体制強化の検討
<p>■No. 14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・(一社)なはりの郷 ・NCL48 ・漁協女性グループ <p>※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 9,120千円 <H26: 5,140千円></p> <p>農水産加工施設の売上高 : 9,000千円 <H26: 0千円></p> <p>水産加工施設の売上高 : 12,000千円 <H26: 3,220千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 9,176千円</p> <p>農水産加工施設の売上高 : 11,297千円</p> <p>水産加工施設の売上高 : 17,227千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 7,887千円 → 実績6,300千円</p> <p>農水産加工施設の売上高 : 5,000千円 → 実績11,917千円</p> <p>水産加工施設の売上高 : 5,600千円 → 実績24,634千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高(6月末) : 1,770千円(前年同期比105%)</p> <p>農水産加工施設の売上高(6月末) : 4,702千円(前年同期比250%)</p> <p>水産加工施設の売上(6月末) : 8,929千円(前年同期比293%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○JA 加工施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利味噌の贈答品のパッケージデザイン・商品販売について、県よろず支援拠点コーディネーターとの協議(5/12) ・製造計画や新商品開発について関係機関との協議(7/10) <p>○農水産加工施設(奈半利のおかって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(15回) ・まるごと商談会への参加(1回) ・百貨店等での催事出店(5回) ・1周年記念イベントの実施(5/21) <p>○水産加工施設(加領郷魚舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(15回) ・新商品の開発(高知県食品産業総合支援事業補助金を活用予定) ・スーパー等との商談会への参加(2回) ・おさかなまつり等の催事出店(6回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大のための販売体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒積極的な商談会への参加による販路拡大や新商品の開発 ⇒アドバイザーの指導による販売体制の強化や生産性の向上
<p>■No. 15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・民間事業者 	<p>[目標(H31)]</p> <p>体験受入回数: 28回<H25: 24回></p> <p>受入人数: 計1,423人(体験271人、見学1,152人)</p> <p><H25: 計1,186人(体験226人、見学: 960人)></p> <p>塩関連での就業者数: 10人(累計)<H26: 2人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>体験受入回数: 26回</p> <p>受入人数: 計1,305人(体験249人、見学1,056人)</p> <p>塩関連での就業者数: 2人(累計)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>体験受入回数: 25回 → 実績50回</p> <p>受入人数: 計1,245人(体験237人、見学1,008人)</p> <p>→ 実績計338人(体験158人、見学180人)</p> <p>[取組状況]</p> <p>体験受入回数(6月末): 14回(前年同期比100%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>受入人数(6月末):計97人(前年同期比84%) (体験41人、見学56人)</p> <p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩研修ハウス、附带施設の整備(産振総合補助金(担い手確保事業)を活用)(6/22着工、9/29完成予定) <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内での周遊促進のため、製塩体験を観光クラスター整備計画における体験メニューの一つとして位置付け ・製塩体験施設パンフレット制作(高知県歴史観光資源等強化事業補助金を活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全天日塩の活用計画の策定と実行 ・塩職人希望者の育成・環境整備 ⇒研修者の受入れ、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での協議 <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客のためのPR(体験施設) ・「塩のまち」として田野町ブランドの発信 ⇒田野町内での周遊を促進する取り組み(パンフレット制作、スタンプラリーの実施、案内看板の整備等)による集客力のアップ ⇒町HPや移住フェア等で情報発信
<p>■No.16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織 ・地域団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高(1~12月):400,000千円<H26:258,729千円> 入込数(1~12月):265千人<H26:221千人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高(1~12月):360,000千円 入込数(1~12月):244千人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高(1~12月):294,047千円 → 実績319,170千円 入込数(1~12月):232千人 → 実績272千人</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(1~6月):169,313千円(前年同期比111%) 入込数(1~6月):138千人(前年同期比103%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、道の駅指定管理者(田野駅屋連)及び地域本部による情報共有会議の開催(月1回開催) ・外商の拡大に向け、外商公社へ田野駅屋野菜情報の提供(月1回) ・GW臨時観光案内の実施(4/29~5/7)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ビアガーデンの実施 (7/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒商品の充実・強化のため地元食材を活用した加工品の開発 ・町と道の駅指定管理者間の連携体制の強化 ⇒月1回の情報共有会議の開催による協議の継続
<p>■No. 17 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・(有) かっぱ市 ・生産者グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：200,000千円<H26：135,000千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>売上高：165,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>売上高：165,000千円 → 実績151,656千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(6月末)：40,164千円(前年同期比98%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会に出展 ・新商品の販売に係る進捗管理、販路開拓等について関係者協議(2回) ・6次産業化セミナー実践コース受講(6/23、7/27、8/25、9/29予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の販路開拓 ⇒商談会等への参加・テストマーケティングの実施 ・製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討
<p>■No. 18 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)高知県東部観光協議会 ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1~12月) ：2,606,000人<H27：2,401,821人></p> <p>圏内宿泊者数(1~12月) ：150,000人<H27：138,229人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~12月)：2,468,500人 圏内宿泊者数(1~12月)：143,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~12月)：2,402,000人 → 実績2,343,600人</p> <p>圏内宿泊者数(1~12月)：139,000人 → 実績138,600人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾開催(3回) ・旅行会社等へのセールス活動(8日) ・県外イベント等でのPR(4日) ・教育旅行の受入れ(中学校5校) ・民泊登録世帯(7月末):161戸 ・四国デスティネーションキャンペーン(4~6月)中に運行された「太平洋パノラマトロッコ」(4~5月の土日祝日21日間運行。乗車人数計2,095人)で地域のおもてなし(ガイド、物販等)実施 ・高知東部食プロジェクト第1弾ポスター、パンフレット、のぼり旗配布(8月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行における農業や漁業の体験学習時間の設定や天候不順への対応 ⇒課題の共有及び改善策の検討 ・教育旅行における民泊登録世帯の増 ⇒各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、さらなる掘り起こしを実施 ・志国高知 幕末維新博の第2幕に向けた各観光施設の磨き上げや周遊プランの造成 ⇒幕末維新博と連動した企画展、イベント開催による誘客の促進や土佐の観光創生塾などを活用した地域の事業者連携による地域観光のクラスター化
<p>■No.19 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,500人<H26:846人> 拠点施設年間来館者数:1,000人<H26:-></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,300人 拠点施設年間来館者数:- (拠点施設未整備) ※H31整備予定</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,300人 → 実績950人 拠点施設年間来館者数:- (拠点施設未整備)</p> <p>[取組状況]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績(7月末):121人 (前年同期比58%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会運営委員会を開催(4/13)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「森林鉄道から日本一のゆずロードへーゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化ー」が平成29年度日本遺産に認定(4/28) ・中芸5町村各地で祝日本遺産認定キャンペーンの実施(4/29～5/7) ・文化庁主催の平成29年度日本遺産魅力発信推進事業に向けた研修会に出席(5/1) ・中芸広域連合長・副連合長会で組織体制等について協議(5/23) ・協議会第4回総会(5/30) ・日本遺産プロデューサーより日本遺産の取組みにアドバイス(6/1～6/2) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する役員会(5/29)及び総会を開催(6/20) ・協議会第5回総会を開催(6/29) →協議会名称を「中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会」に変更し、新体制での活動開始 ・旅行商品のPR(11月から日帰りツアー実施予定) <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産サミット in 京都における商談(7/1～7/2) ・「ツーリズム EXPO ジャパン2017」日本遺産PRブース出展(出展者:文化庁)への参加(9/21～9/24予定) ・日本遺産魅力発信推進事業の実施(7/14交付申請) ・ブランド部会・活性化部会・ゆず部会・林鉄部会4部会を協議会内に設置(8/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ⇒PR事業の実施 日本遺産認定記念シンポジウムの開催(10/1予定) ・3年間の補助金終了後の継続した取り組み ⇒持続的な運営に向けた仕組みづくりの検討
<p>■No. 20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 10,000人 <H26: 7,869人></p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数: 70,000人 <H26: - ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 8,000人 室戸世界ジオパークセンター入館者数: 70,000人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28到達状況]</p> <p>ジオパークガイド利用者数：8,000人 → 実績7,076人 室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000人 → 実績76,629人</p> <p>[取組状況]</p> <p>ジオパークガイド利用者数(6月末)：2,006人 (前年同期比76%)</p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数(6月末)： 20,449人(前年同期比93%)</p> <p>○室戸ジオパーク推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオ市開催(5/3～5/5) ・室戸青少年自然の家と共同で「室戸岬ミニクルージング」開催(5/3～5/5) ・室戸世界ジオパーク全体会(6/8)において、市民等と今後の取り組みについてワークショップを開催 ・室戸世界ジオパーク推進協議会総会(6/8)開催 ・各テーマ「もてなす」、「稼ぐ」、「広める」ごとに室戸世界ジオパーク推進チーム会を開催(6/8～7/30) ・ジオばた会議(室戸ジオパークいどばた会議)の開催による住民との意見交換(7箇所 7/11～7/20) ・ガイド研修に向けたガイド団体(佐喜浜・吉良川・室戸岬)の意見交換会(7/26) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「室戸世界ジオパークセンター」の機能充実 ⇒利用者等のニーズを踏まえた磨き上げの実施 ・ジオツアーや体験プログラムの充実 ⇒ジオツーリズム推進チーム会によるセンターを拠点とした魅力ある周遊コースの開発や磨き上げ、実施体制について検討 ・再認定への対応 ⇒再認定に対応するための専任職員の配置 ⇒サイトの分類の見直し及び新たなサイト候補地の検討 ・遊休地(体育館、土地)の利活用 ⇒関係者間での協議・検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社) うみ路 ・室戸市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 31,000人 <H26 : 24,431人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 30,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 30,000人 → 実績23,916人</p> <p>[取組状況]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数(6月末) : 5,696人 (前年同期比90%)</p> <p>○NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸ドルフィンセンターでのイベント実施(5回) ・教育旅行の受入(イルカ教室+トレーナー体験、4校 39名) ・日曜市(高知市)の室戸市ブース等イベントへの出店(1回) ・観光創生塾へ参加(6/5、6/14) <p>○室戸黒潮協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験)(4校 344名) ・カツオの薫焼きたたき作り体験(7月末) : 122名実施 <p>○(一社) うみ路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験の実施に向けたスジアオノリ養殖施設の完成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の魅力向上 ⇒新たな体験プログラムの造成 ・体験プログラム(カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験)の情報発信 ⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者や東部観光協議会等と連携した広報を検討
<p>■No. 22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人<H26 : 196,895人> 市内年間宿泊者数 : 25,000人 <22,721人(H22~26平均値)></p> <p>ちりめん井販売食数 : 50,000食<H26 : 40,846食></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 50,000食</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ JA 土佐あき ・ 安芸市観光ボランティアガイドの会 ・ 廊中ふるさと館 ・ メリーガーデン ・ はたやま夢楽 ・ 安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・ 道の駅大山 <p>※地域産業クラスター関連（日本一のナス産地拡大プロジェクト）</p>	<p>[H28到達状況]</p> <p>市内年間観光客数 : 208,000人 → 実績見込 約260,000人</p> <p>市内年間宿泊者数 : 25,000人 → 実績25,892人</p> <p>ちりめん井販売食数 : 45,000食 → 実績48,324食</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廊中ふるさと館のサービス等向上を目的とした先進地視察研修の実施 (5/22) ・ 道の駅大山の改修についての関係者協議 (5/26、6/22、6/27、7/5、7/26、8/18) ・ 県立安芸桜ヶ丘高校ビジネス応援部による「安芸の土佐ジローラーメン街道」プロジェクトの実施 (7/29～10/29) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験プログラム等の新たな造成と磨き上げ ・ 周遊観光メニューの充実 ⇒「土佐の観光創生塾」を通じ、観光関係者連携で伊尾木洞を中心とした周遊プラン作成 ⇒女性をターゲットに据えた道の駅大山の改修(飲食スペースの拡大等)
<p>■No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋町 ・ 地元マリンスポーツ関係事業者 ・ 宿泊事業者 ・ 東洋町観光振興協会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>体験者数 : 5,000人 < H27 : - ></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>体験者数 : 1,000人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>体験者数 : 1,000人 → 実績 -</p> <p>[取組状況]</p> <p>体験者数 (7月末) : 136人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育旅行の受入 : 3校 (22戸 187名) ・ 東洋町中山間地域活性化協議会の設立 (6/9) ・ 特産品「冷凍こけら寿司」の試作品作成 ・ 大阪海遊館イベント参加 (7/8～7/9) ・ 地域資源を活用した体験プログラムや企画商品づくりなどについて、産振アドバイザーを活用 (1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験プログラムの受入体制の強化 ⇒体験者受入に向けて東洋町観光振興協会の法人化及び事務所開設の準備 ・ 地域資源を生かした体験プログラムの造成及び周知 ⇒東洋町観光アプリ (TOYO ナビ) の充実及びPR強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒「イカダでの釣り体験」など観光客向けの新たな体験プログラムの造成や、教育旅行の受入に向けた「カツオのたたき体験」の実施を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーフィン客等の受入施設の整備 <p>⇒サーフィン客へのアンケート調査の結果を基に、必要な施設整備などを検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町の体験観光の魅力向上 <p>⇒マーケティングやコンテンツの磨き上げ、人材育成、情報発信を実施（農山漁村振興交付金事業を活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の商品化 <p>⇒冷凍こけら寿司の商品化及び商談会等への参加</p>
<p>■No. 25 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大（北川村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>各施設入園(館)者合計数：108,000人 <H26：80,983人></p> <p>(モネの庭：70,000人) <H26：53,174人></p> <p>(北川村温泉：28,000人) <H26：21,682人></p> <p>(中岡慎太郎館：10,000人) <H26：6,127人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>各施設入園(館)者合計数：78,000人</p> <p>(モネの庭：68,000人)</p> <p>(北川村温泉は閉館中)</p> <p>(中岡慎太郎館：10,000人)</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>各施設入園(館)者合計数：69,000人 →実績69,675人</p> <p>(モネの庭：62,000人) →実績63,415人</p> <p>(北川村温泉は閉館中)</p> <p>(中岡慎太郎館：7,000人) →実績6,260人</p> <p>[取組状況]</p> <p>各施設入園(館)者合計数(7月末)：47,077人 (前年同期比133%)</p> <p>(モネの庭：42,464人(前年同期比129.5%))</p> <p>(北川村温泉は閉館中)</p> <p>(中岡慎太郎館：4,613人(前年同期比176.3%))</p> <p>○モネの庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新従業員育成の体制づくりのため、カフェ「モネの家」に県産業振興アドバイザーを活用(3回) <p>○北川村温泉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月より本体工事着工、H30.3月竣工予定 ・指定管理者の決定(9月議会)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○中岡慎太郎館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慎太郎企画展、花家紋アートの開催(県地域イベント支援事業費補助金を活用) ・多言語化対応、散策マップの作成、HPのスマートフォン対応等(歴史観光資源等強化事業費補助金を活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内周遊のしくみづくり <p>⇒連動したイベントの開催や温泉オープンを視野に入れた各施設間での交通アクセスの検討</p>
<p>■No. 28 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 (奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・(一社) なはりの郷 <p>※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>集出荷センター取扱高: 3億円 <H27. 7月~H28. 6月: 2億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>集出荷センター取扱高: 2.5億円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>○集落活動センター運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度理事会の開催(6/5、6/30) <p>○一次産業部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業受託作業開始(5月~) ・農業複合経営拠点運営委員会への参加(2回) ・複合経営拠点推進フォーラム参加(7/18) ・農業受託事業推進のため農機導入(農業複合経営拠点事業補助金を活用)(5月) ・農機・集出荷センター内備品の導入予定(集落活動センター推進事業補助金を活用) ・農畜産物集出荷センター及び就農研修施設の整備(12月完成予定) <p>○観光・移住部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なはりの郷活性化協議会観光部会の開催(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの円滑な運営 <p>⇒アドバイザーの派遣や情報提供などにより、各事業の円滑な推進を支援</p>
<p>■No. 29 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>交流人口 : 3,600人<H26: 3,329人></p> <p>じねんレジ通過者 : 28,000人<H26: 25,711人></p> <p>集落活動センター利用者数: 3,200人 <H26. 12月~H27. 3月: 689人></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山を元気にする会 ・ 安田川漁協 ・ 自然薯生産組合 ・ 味工房じねん ・ 中山合同女性部 	<p>[H29到達目標]</p> <p>交流人口 : 5,250人 じねんレジ通過者 : 26,400人 集落活動センター利用者数 : 3,250人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>交流人口 : 3,400人→実績 5,120人 じねんレジ通過者 : 26,400人→実績24,600人 集落活動センター利用者数 : 2,400人→実績 3,158人</p> <p>[取組状況]</p> <p>交流人口 (7月末) : 929人 じねんレジ通過者 (6月末) : 5,701人 集落活動センター利用者数 (7月末) : 513人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知大学との連携 <ul style="list-style-type: none"> ▶ えんむすび隊 : 自然薯栽培支援 (天候不良により中止) 及び地域住民とのワークショップ実施、 ▶ 医学部看護学科 : 地域生活者支援実習 (5/23~5/25) ▶ 安田の食応援隊 (11人) : 食をテーマとした地域活動 ▶ 中山を元気にする会定例会で H30年度から地域協働学部の受入れを承認 (6/15) ・ 自然薯栽培用資材の導入による栽培規模拡大 (集落活動センター推進事業費補助金 (経済活動拡充支援事業) を活用) ・ 安田町ふるさと応援隊の追加導入 (4/17~1人、6/5~1人、計2人) ・ おもてなしの水辺創成事業実施 (河川整備8/6) ・ 旧中山小中学校活用検討委員会の開催 (8月予定) ・ コミュニティカフェ喫茶よってん屋の営業再開 (8/8~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済活動を軌道に乗せていくための仕組みづくり ⇒さらなる栽培面積の拡大と販路の確保等 ・ 旧中山小中学校の活用策の検討 ⇒役場内での素案づくりと住民・関係機関を含めた検討委員会での活用案の策定 ・ 集落活動センターの円滑な運営の継続 ⇒安田町ふるさと応援隊と大学、町、県等各関係機関の連携による活性化に向けた取り組み

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 31 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>丸山公園魚梁瀬森林鉄道利用者数：1,830人以上 <H24～26平均値：1,523人></p> <p>山村留学による魚梁瀬地区への転入：5組<H26：4組></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>丸山公園魚梁瀬森林鉄道利用者数：1,600人 山村留学による魚梁瀬地区への転入：4組</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>丸山公園魚梁瀬森林鉄道利用者数：1,600人→実績962人 山村留学による魚梁瀬地区への転入：4組 →実績3組</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬ふるさと応援隊の追加導入：H28 1人→H29 3人 (うち1名は9月末まで) <p>○観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬ふるさと応援隊を中心にGWイベントを実施 (来場400人超) ・四国運輸局次長来村・視察(7/13～7/14) ・ダム湖でのSUPの検討開始(東洋町観光協議会訪問) (7/12) <p>○山村留学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月より新たな転入1組(H29年度当初2組→3組) <p>○シキミ・サカキ採取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林技術センター、安芸林業事務所との現地調査(7/20、 8/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シキミ・サカキ採取 ⇒森林技術センター、安芸林業事務所の協力のもと産業化を検討 ・集落活動センター設立への意識づくり ⇒地域住民及び魚梁瀬ふるさと応援隊の取り組みを支援するとともに、集落の活力づくり支援事業費補助金の活用及び集落活動センターの立ち上げを提案 ・日本遺産認定の活用 ⇒産振アドバイザーを活用した視察の実施と観光活性化策の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・芸西村集落活動センター推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>サトウキビ収穫量：5t<H27：0t></p> <p>移住世帯数：5世帯(H28～31累計)</p> <p style="padding-left: 40px;"><H24～27：3世帯></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>サトウキビ収穫量：0.3t</p> <p>移住世帯数：3世帯</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進協議会総会開催(1回) ・全体会開催(3回) ・取り組み事業の追加の決定(シキミ・サカキの活用) ・3部会(竹の活用、サトウキビ生産・黒糖の製糖、シキミ・サカキの活用)立ち上げ ・集落活動センターげいせい通信(村広報折り込み)発行(2回) ・シキミ・サカキ専業農家(先進地)視察実施(7/5) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の幅広い参画、プレイヤーの確保 ⇒プレイヤーの掘り起こし(集活センター通信等による住民への事業周知及びメンバーからの声かけ) ・村内製品の地産外商、交流人口拡大に向けた具体的な取り組みの検討 ⇒村内製品の加工施設の整備を検討するとともに、移住相談会等への積極的な参加及び情報発信

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■NO. 6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>4/28 交付決定</p>	<p>傷がつきにくいチタン塗装を施した monacca シリーズのWEBサイトやカタログを製作するとともに、見本市に出展し、販路開拓につなげる。</p>	<p>5,405(2,000)</p>
<p>■NO. 15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>6/27交付決定</p>	<p>担い手育成施設の整備及び研修体制の確立により、塩職人を養成していく。(製塩ハウス2棟の建設及び付帯施設の整備)</p>	<p>20,833(10,408)</p>

<p>■NO.1ユズを 中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>6/26交付決定</p>	<p>馬路村農業協同組合が生産しているぼん酢しょうゆ類等の容器をガラス瓶からペットボトルに変更するための設備整備等を行い、売上のアップを図る。</p>	<p>167,633(25,833)</p>
--	---	------------------------

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・高知銀行との勉強会における第3期産業振興計画 ver. 2及び地域アクションプランの説明(5/24)
- ・その他、管内事業者等への研修会（H A C C P研修、土佐M B A、土佐F B C等）や商談会などの開催の周知

5 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/25	食品加工	新商品を開発するための支援策について
2	5月上旬	機械製造業	新商品を開発するための補助事業について
3	5月中旬	機械製造業	リース会社を設立するための補助事業について
4	6/9	食品加工	新商品を開発するための支援策について
5	7/3	水産業	養殖鰻の研究のための県施設利用等支援について
6	7/31	食品加工	事業展開するための土地の確保と支援策について